
殺人計算

δ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殺人計算

【Nコード】

N8249C

【作者名】

δ

【あらすじ】

世界的に怪死が急増。死因はみな自殺か心臓麻痺。初めは緩やかだった人口減少もやがて指数関数的に加速し、人類滅亡の噂まで流れる。そんな中、とあるジャーナリストが、「自分が黒幕だ」と告白する男と出会う。

「殺人ノート？」

「そうだ。このノートに名前を書かれた人間は死ぬ」

「信じられるか」

「試してみるか？」

しばし、沈黙。

「わかった、信じる。続ける」

「殺すにもいくつか条件がある。たとえば死因。既定値は心臓麻痺だが、実現可能な死因をこちらで指定できる。もちろん自殺も可能だ」

「実現不可能な死因を指定したらどうなる」

「実現しない。心臓麻痺になる」

「なるほど」

「弾が一発しかない銃と、人間が二人いるとする。一方が先に銃で自殺してしまうと、他方は心臓麻痺で死ぬしかない。逆も可能だ。

これは”NOT”ゲートになる。ついて来れるな？」

「ああ」

「同様に一発の弾と三人の人間を考えると、これは”NAND”、すなわち、二つの入力がどちらも”偽”、心臓麻痺だった時にだけ三人目の出力が”真”、自殺になる論理ゲートとして作用する。”

NAND”さえあれば組み合わせしだい全ての論理ゲートを構成できるし、もつと効率よく作ることもできる。殺人が計算するんだ」

「なにが言いたい？」

「『人生、宇宙、すべての答え』は知ってるか？」

「小説の話だろう？」

「俺はそれを計算している。このノートでな」

「意味がわからない」

「およそ計算できる物は、さっき言った方法で必ず計算できる。こ

れは何十年も前に証明されてる。もちろん自殺や心臓麻痺を全部俺が仕切ってるわけじゃないから、ある程度のノイズは生じるが、それを吸収するのに十分な冗長性を持たせてある。計画に三年、調整に五年かかったが、いま世界中で進行している現象は、すべて俺の計画によるものだ」

「待て、お前の話なら、それはすなわち機械でだってできることじゃないか。なぜ人を殺す？」

「機械ごときに人生の答えが解るわけがないからな」

「しかし、人間だって機械だろう」

「それはそうだが、多種多様な人間を全部機械でシミュレートするのは面倒だし、それ以前にそれはもう殺人と同じだ」

「納得できないな」

「だろうな…なぜ、お前がここに来たと思う？」

「偶然だろう？」

「いや、必然だ。『お前』である必要は無かっただろうがな」

「なんてこった」

（後書き）

オチは、無いです。

まあ要するにデスノートの使い道の話で、作中の手法を適当に組み合わせれば計算ができるよ、という。それ以外に特に意味は無いのですが、まあ「答え」を知った男はたった独りの世界で何を想うのか、なんかに勝手に思いを馳せるのもいいかもしれません。

ああ、「人生、宇宙、すべての答え」はgoogleあたりで検索していただければ、（人類を滅亡させることなく）計算できます。便利な世の中です。

面白かったにせよつまらなかったにせよ、感想をもらえると嬉しいです。嬉しいので感想をください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8249c/>

殺人計算

2010年12月26日02時39分発行